

## 令和6年度県立学校公開講座

# 『源氏物語講座』受講者募集のお知らせ

今年度海老名高校において、公開講座「源氏物語講座」を開講いたします。皆様とのよき交流の場となれば幸いです。

形式は源氏物語の原文（古文）を口語訳付きのテキストで気軽に読み、皆で楽しく味わうものです。古文は苦手、あるいは初めての方でも大丈夫です。原文のリズムを味わっていただいた後は、講師が口語訳をしながら丁寧に解説いたします。高校生以上の方ならどなたでも参加できます。テキストはこちらでご用意いたします。お持ちいただくのは鉛筆のみです。古典の名作を気軽に、かつ深く味わっていただけます。原文でなければ伝わらない感覚もあります。じっくり読めば読むほど各自の中に自分の源氏物語ができあがっていくはずです。千年前の古典からしみじみ共感するものを感じ取っていただければと思います。

### ○内容

19年前他校で桐壺巻を開講以来少しずつ読み進め、昨年若菜下巻までできました。今年はその続きを読み進めますが、途中からでも大丈夫です。これまでの話の展開と問題点を最初に解説いたします。また、ほんの一つ二つの場面でもそこに描かれた人の心の有様をダイナミックに感じ取ることができるはずです。毎年こうして継続なさる方が少しずつ増えてきました。

これまでの概要ですが、前の若菜上巻で光源氏は40歳となり人生の後半部に入った途端、一転して物語はあたかも人生の現実と不幸を追求するかのように人々の苦悩を描き始めました。これ以降は源氏物語の第二部といわれ、源氏物語が現在でも文学の最高峰にあるのはこの部分があるからです。物語の時点は源氏47歳、若い後妻女三宮を迎えて以来数年、源氏との生活に苦悩を重ねていた紫上がついに緊張の糸が切れて病に倒れてしまい、その騒ぎの中で源氏の正妻女三宮と若い男柏木の密通が起きた後の場面です。

今年、女三宮あての柏木の恋文を源氏が発見し、二人の密通を知った後の場面からです。自分を裏切った二人への憎悪で源氏は苦悩します。しかし翻って、自らが29年前に父帝の妻藤壺と密通を犯したことを思い返し、父も真相を知っていたのではないかと思ひ至ります。二人を追い詰め苦しめる一方、源氏の心の中には破滅していく若い二人への深い愛着と悲しみが湧いてきます。想像を超えた人の心の愛憐執着の深さは容易な解釈を許しません。愛の苦しみの中で人の心は耐えきれません。寂しさの中ですがってしまうのは、やはり互いの愛情でしかありません。人生の晩年から最期をどう考えるのか、本当に大切な人生の真実を探すための物語です。

開催日時 7/25(木)、7/31(水)、8/6(火)、8/20(火)、14時～16時30分 全4回

申込方法 必ず**往復葉書**に、住所、氏名、電話番号(必須)を記入し、「源氏物語講座申込」と書いて、以下までお送りください。先着60名様で締め切らせていただきます。

申込締切 6/25(火)必着 (先着順ですのでお早めにお申し込みください)

受講料 1,500円。受付後にこちらから郵送します振込用紙にて指定日までに振り込んでいただきます。なお障害者手帳をお持ちの方、高校生(海老名高校以外でも可)は無料です。

申込、問合せ先 〒243-0422 海老名市新田1-26-1  
神奈川県立海老名高等学校 「源氏物語講座」係  
電話：046-232-2231(代表)

担当 三枝秀彰(教諭)